



# 教育研究所だより

平成30年10月25日 発行

No.17

〒987-0511 登米市迫町佐沼字袋向150-1

TEL 0220-22-8029(相談専用22-8125) FAX 22-9114

HPアドレス <http://www.tome-avc.jp/rese/>



【平成30年度】

手軽に食べられるお寿司屋さんといえば「回転寿司」ですね。元禄寿司、かつば寿司、鮎勤など様々あります。この回転寿司の生みの親は、大阪で「元禄」という小料理屋を営んでいた白石義明という人だそうです。(元禄寿司の元祖)彼は手軽に食べてもらいたいということから「立ち食い寿司」をはじめ、好評だったが、この人氣が仇となり、店は人手不足になったそうです。このとき、あるビール工場のベルトコンベアが目にとまり、ひらめいたそうです。ベルトコンベアに寿司を乗せて客に取って貰ってはどうかと考え、1958年、初の回転寿司店「元禄寿司」がオープンしたということです。

## 第2回特別支援教育研修会



9月28日、第2回特別支援教育研修会が宝江ふれあいセンターで開催されました。講師は当所の特別支援教育カウンセラーの佐藤秀明先生です。1回目に引き続きの講師として講話をいただきました。

### <講師の佐藤秀明先生>

「特別支援教育実践上の課題とその対応について～メディアと家庭と子育て支援～」と題して講話をいただきました。

お話の概要は次のとおりです。

### <課題1 メディア> 乳幼児期の発達とメディア

#### ◇ メディア依存とは…日常的にメディアに長時間接し…

- していないと落ち着かない(離脱現象)
- 自制できない状態
- 仮想的人間関係の優位



#### ◇ メディア依存の子の特徴

- 自己表現が苦手 ○コミュニケーションが苦手
- 家族関係が希薄

#### ◇ ケータイ、スマホ、インターネット

- 所有率の急上昇・低年齢化
- インターネットは世界をつなぐ高速道路、スマホは高速道路を走る高性能スポーツカー、しかし、ブレーキが故障(そんな車に子どもを乗せますか?)

#### ◇ 学齢期の発達とメディア

- メディアは道具でそれ自体の善悪ではなくメディアが奪う体験や発達を見る(メディアが障害の全要因ということではない)
- メディア遮断で問題行動が改善した事例もある
- 遮断してできた時間を埋める豊かな遊び体験を提供

#### ◇ 親の時代とは明らかに違うメディア環境

- 複数化 ○ポータブル化 ○多重化
- 現実世界への侵入 ○キーボードからタッチパネルへ

#### ◇ こんな子がいたらメディア漬けが疑われます!

- 落ち着けない、イライラ ○表情が乏しい ○視線が合わない
- ことばが出ない(オウム返し) ○人をたたく、蹴る
- 戦いごっこ以外のごっこ遊びをしない ○親のスマホを求める
- テレビ番組やキャラクターの話をしたがる

#### ◇ 背景にあるもの

- メディア漬け(保護者自身) ○プチ虐待(愛着形成不全)
- 身体の発達不全(背筋力低下) ○脳の不覚醒(親の夜型)

↓  
大人社会の歪み

### No.16の答え 「Bに入る」です

理由:Aは都道府県名と県庁所在地名が同じグループ  
Bは都道府県名と県庁所在地名がちがうグループ  
宮城県の県庁所在地は仙台市 よってBに入る

<お知らせ> 11月1日(木)の教育相談は都合によりお休みさせていただきます。代替日として11月28日(水)に教育相談を行います。

### <課題2 家庭> 子どもたちがおかしい…

#### ◇ 視線が合わない…その背景に…

- 授乳のときに子どもと目が合わない

#### ◇ コミュニケーション能力の低下

- 小・中・高・大にも見られる状況
- テレビがついていると…志向が攪乱、思考の流れを阻害
- 音光環境(人工環境) ○脳の発達を妨げる原因に

#### ◇ 落ち着きがない

- 落ち着けない…前頭前野のコントロール
- 前頭前野の覚醒を促す朝の保育
- 安心できる人、もの、場所、匂い、肌触り

#### ◇ 話を聞けない

- 人の生の声の心地よさ…心地よいときに人の声で包まれる
- 気持ちよいことばに包まれる体験…否定語より肯定語

### <保育者・教育者としてのポイント>

- ①前向きな態度 ②一貫性をもって向き合い続ける
- ③情緒的反応には冷静な判断力を ④心身面のケア、保健指導
- ⑤生活・人間関係のアドバイス ⑥医療機関・相談機関も視野に
- ⑦外部の専門家との連携

講話のはじめや途中で「山本まりん」さんの紹介や演奏(CD)がありました。秀明先生は山本まりんさんが13歳の時から関わってきたそうで、オカリナ奏者でもあります。秀明先生のオカリナの師匠だそうです。

### <参加者の感想>

- ☆今日の研修を受け、もう一度子どもたちの行動や性格、学習上のよさ、困難さを見つめていきたい。
- ☆教師も一緒に楽しむことが大事で、喜ぶことがその子どもを認めることになる。これを頭に入れて接していきたい。
- ☆メディア依存について自分自身もしっかり学び、伝えていける立場にならなければと感じた。
- ☆メディア依存は今後の大きな問題でもあり、保護者のケアの仕方、支援なども考えなければならぬと感じた。
- ☆障害のあるなしではなく、その子にあった支援や援助を探りながら、子どもたちと共に笑顔あふれる毎日を送っていきたい。
- ☆安心して過ごせる環境づくりに努めていきたい。

研修会終了後、市教委から「個別的教育支援計画」「個別のプロフィール」についての説明がありました。

### 頭の体操コーナー

<例> 会 術 <例>のように4つのことば(昔話、会話、話術、話題)をつくります。

①、②にはどんな漢字が入りますか。

若	見	①
野 ①	日 ②	②
食	名	
原		